

12月議会一般質問

改選後初めての議会にて、新市長の方針を引き出すべく、第1問「次世代を育てる子育て・教育について」、第2問「女性・若者がより一層活躍する安曇野にするために」を取り上げました。



期待に胸弾ませる成人式のひとコマ
(2018年成人式)

1. 「次世代を育てる子育て・教育について」

地域の将来の担い手を育成は最重要課題。家庭のあり方も多様化し、少子化、メディア利用での課題、いじめ問題など、子供を取り巻く環境は厳しい。加えてコロナ禍の長期化による影響もある。市長の子育て・教育のビジョンは。

(太田市長) 子育て支援サービス提供の充実と志高く未来を切り開く安曇野教育の実現を目指す。

待機児童への対応は。

(福祉部長) 小規模保育事業所を整備する。

子育て広場の設置は。

(福祉部長) 関係する部署と検討を進めたい。

通学路の62の危険箇所の改善は。

(教育部長) 道路管理者との連携しながら、地域見守り

活動や交通安全指導のソフト対策も取り組みたい。

保育施設のおむつの持ち帰りを見直す考えは。

(福祉部長) 方法と課題について検討している。

課題解決のため、0～18歳への切れ目ないサポートを行う「こども部」設置の考えは。

(市長) 子育て支援は重要な課題。組織の再編成に当たり検討を進めている。

⇒ 令和4年度の組織改編にて、子どもに関する業務が「教育部」に統合され、一貫した理念のもと、家庭支援を含む18歳までの保育・教育を行う体制となる予定です。

2. 「女性・若者がより一層活躍する安曇野にするために」

女性議員数が少ないこと、日本のジェンダーギャップ指数が世界的にも低いといった中で、安曇野市における、女性・若者の活躍に関する市長の考えは。

(市長) 社会の多様性は大切。国連でSGDsの条約が採択され、女性の社会進出が推進されている。安曇野市でも、女性活躍の啓発を続ける。若者の活躍も大事。若者の意見を受け止められる安曇野市を目指す。市職員からの政策提案に関しても女性職員から相当数の提案がある。女性管理職の登用も増やす。(総務部長) 市内企業へも啓発活動をしている。

市内の女性・若者の活躍の場は。

(商工観光部長) 創業セミナー受講生に占める女性割合は5割。制度を設け、意欲のある女性や若者の起業を支援する。

若い世代の声を生かす具体的な取組は。

(政策部長) 高校生との市政懇談会で日頃感じる課題を聞き、有意義な意見を頂いた。

(教育長) 中学2年生向けの出張市政講座を行ったり、中学生議会を通して、中学生の市政への関心を高めている。

(市長) 若い人との意見交換の場をぜひ作り、政策の中にも生かす。

2021年一般質問テーマ(まとめ)

会期	内容
3月議会	(1) 歩くまちづくりの推進 (2) 安曇野市の職員の人材育成と組織運営について (3) 気候変動への対策
6月議会	(1) 協働のまちづくりの推進 (2) 市内事業者への支援
9月議会	(1) 安曇野をつなぐ農業政策の展望と取り組みは (2) 行政サービス向上につなげるDX推進は
12月議会	(1) 次世代を育てる子育て・教育について (2) 女性・若者がより一層活躍する安曇野にするために

※皆さまからのご意見を市政へおつなぎすべく、精力的に一般質問でも取り上げております。

～ 市議会・総務環境委員会のトピック～

委員長を務める「総務環境委員会」に関する、直近の議会の活動について、ご紹介いたします。

◆陳情の採択方式について

12月議会では、選挙運営に関する陳情が提出され、委員会審査で「継続審査」となりました。

既に取り組んでいるもの、国の法整備が必要なもの、電子投票は機械故障により撤退の方向であること等が確認されました。

安曇野市議会では、一括採択方式(複数の陳情項目のうち不採択事項が1つでもあると、その陳情全体が不採択)のため、せっかく寄せられた願いが無効になる恐れがあります。過去の検討経過も踏まえつつ、今期の議会体制の中で、一部採択方式(趣旨採択、指定した部分の採択)の議論を深めたいと思います。

陳情についても、お気軽にお声かけください。



春はもうすぐ! 福寿草

◆政策提言テーマ

今年の政策提言テーマを「安曇野市におけるエネルギーの地産地消の実現に向けて」としました。

県の「長野県ゼロカーボン政策」では、2050年の再生可能エネルギー生産量を2010年の3倍にするとしており、太陽光発電や小水力発電等の推進が求められます。周辺自治体も取り組みを強めており、委員会では研究・視察を行い、10月の提言提出に向けて取り組みます。

議会ICT研究会が再結成されました。

改選前の研究会で「安曇野市議会ICT化に関する推進計画」を策定しましたが、具体的な検討は道半ば。私も研究会メンバーの一員として、タブレット端末の導入等を検討します。県内19市議会でもタブレット端末導入済みが9市議会、検討中が6市議会です。ペーパーレス化により、職員と議員の事務の効率化、議員の仕事の能率アップなどが期待されます。まずは、大量の紙資料の印刷見直しから着手できればと思います。